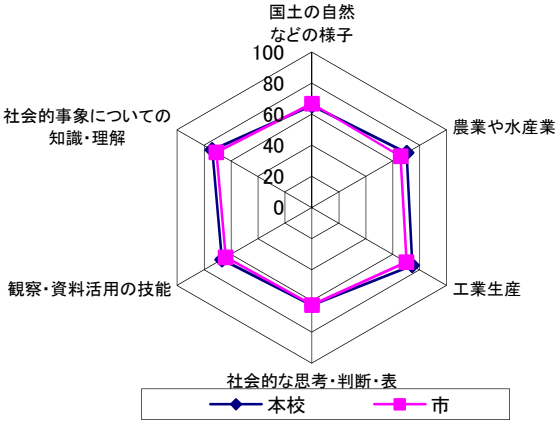


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	65.5	66.7
	農業や水産業	70.3	65.8
	工業生産	74.4	70.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	62.8	62.7
	観察・資料活用・技能	66.8	64.1
	社会的事象についての知識・理解	74.0	70.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	・「国土の自然などの様子」については、市の平均を1.2ポイント下回った。 ・世界の主な大陸世界や海洋の名称と位置については、概ね理解できている。 ・日本の南端の島の位置、日本の気候や川の特徴についての理解が不十分である。	・我が国の国土の様子と国民の生活との関連を図りながら、国土の位置や自然条件などを理解することができるよう、適切な資料や教材を準備する。 ・授業において地図や白地図を十分活用し、大陸と海洋の名称や位置についての理解を深めさせる。
農業や水産業	・「農業や水産業」については、市の平均を4.5ポイント上回った。 ・日本の農業や水産業に関する基本的な知識は身に付いている。 ・資料やグラフから必要な情報を読み取ることはできるが、複数の資料を比較して類似点や相違点を見出し、考察を導き出す力は不十分である。	・複数のグラフや資料を読み取り、内容を考察する力を身に付けさせたい。そのため、授業においてグラフや資料を読み取る時のポイントを適宜指導すると共に、自分の考えを書く機会を増やしたり、読み取ったことをグループや学級で話し合ったりする機会を増やし、思考力の向上を図りたい。
工業生産	・工業生産については、市の平均より4.2ポイント高い。 ・日本の工業生産について、基礎的な知識が身に付いている。中京工業地帯や工業製品の種類については、十分理解している。 ・複数の資料をもとに、日本の貿易についての問題を作る設問では、市の平均より3.6ポイント低かった。	・自動車をつくる工業、工業地帯や工業地域、貿易などの学習は国際的になり、自分たちの身近な事柄としてとらえにくい点がある。資料集や視聴覚教材を活用することによって、生産の流れなどの具体的なイメージをもてるようにして、学習への意欲を高めさせたい。